GeoReferencer 機能仕様書

1. 概要

GeoReferencerは、PNG画像(ハイキングマップなど)を国土地理院の地理院地図上にジオリファレンス(地理的位置合わせ)する専用Webアプリケーションです。GPS座標データとPNG画像を読み込み、画像を正確な地理的位置に重ね合わせることができます。

2. システム要件

2.1 動作環境

- ブラウザ: Chrome、Firefox、Safari、Edge(最新版推奨)
- JavaScript: ES6モジュール対応
- サーバー: ローカルHTTPサーバー (CORS制限回避のため)
- 必要なサーバーコマンド: python -m http.server 8000 または npx serve .

2.2 外部依存関係

- Leaflet.js v1.9.4: 地図レンダリング
- **SheetJS** v0.18.5: Excelファイル読み込み(将来拡張用)
- **国土地理院タイル**: 地図データソース

3. 主要機能

3.1 ファイル読み込み機能

3.1.1 ポイントGPS読み込み(GeoJSON)

- 対応形式: GeoJSON (.json)
- **データ内容**: GPS座標ポイントデータ
- 表示: 赤色の円形マーカー (半径6px)
- レイヤー: pointJsonMarkers (z-index: 620)

3.1.2 PNG画像読み込み

- 対応形式: PNG画像ファイル
- 用途: ハイキングマップなどの重ね合わせ対象画像
- 初期表示: 箕面大滝付近を中心とした初期境界で表示

3.1.3 画像内座標読み込み(JSON)

- **対応形式**: JSON (.json、複数ファイル対応)
- **データ種別**: ポイント、ルート、スポットデータ
- 自動分類: ファイル内容に基づく自動判定

3.2 マーカー表示機能

3.2.1 ポイントマーカー

- **通常ポイント**: 赤色円形マーカー(半径6px)
- **ルート開始点**: 緑色円形マーカー(半径7px)
- **ルート終了点**: 赤色円形マーカー(半径7px)
- ルート中間点: オレンジ色ダイヤモンド型マーカー (8×8px)

3.2.2 スポットマーカー

- 形状: 正方形(10×10px)
- **色**: 青色 (#0066ff)
- 境界: 濃い青色(#004499) の1px境界線
- レイヤー: pointJsonMarkers

3.2.3 ポップアップ表示

- ポイント: 名前、座標情報
- **ルートポイント**: ルート名、ラベル (開始点/終了点/中間点) 、座標
- **スポット**: 名前、ファイル名、座標

3.3 ジオリファレンス機能

3.3.1 精密アフィン変換

- **アルゴリズム**: 最小二乗法による6パラメータアフィン変換
- **使用ポイント**: 全一致ポイント(制限なし)
- **精度評価**: 平均誤差、最大誤差の算出
- **変換行列**: 2×3行列による座標変換

3.3.2 自動位置同期

- 対象: ポイント、ルート、スポットマーカー
- **同期条件**: 画像座標由来 (origin: 'image') のマーカーのみ
- GPS由来マーカー: 移動対象外(位置維持)
- 変換適用: リアルタイムでマーカー位置を更新

3.3.3 画像重ね合わせ実行

- **トリガー**: 「画像の重ね合わせ(ジオリファレンス)」ボタン
- 処理フロー:
 - 1. 対応ポイントペアの抽出
 - 2. アフィン変換パラメータ計算
 - 3. 画像位置・スケール・回転の適用
 - 4. マーカー位置の自動更新

3.4 座標変換・出力機能

3.4.1 GeoJSON出力

- フォーマット: GeoJSON Feature Collection
- 含まれるデータ:
 - 変換後のポイント座標
 - ルート情報(マーカーのみ、線なし)
 - スポット情報
- ファイル名: georeferenced-points.json

3.4.2 座標系対応

- **入力座標系**: WGS84(GPS座標)
- 表示座標系: Web Mercator(Leaflet標準)
- 変換: 画像座標 ↔ GPS座標の双方向変換

4. データ形式仕様

4.1 GeoJSONポイントデータ

4.2 ルートデータ

```
{
    "name": "ルート名",
    "routeInfo": {
        "startPoint": "開始点ID",
        "endPoint": "終了点ID"
    },
    "points": [
        {
            "id": "point1",
            "name": "ポイント名",
            "lat": 緯度,
            "lng": 経度,
```

```
"type": "waypoint",
    "imageX": 画像X座標,
    "imageY": 画像Y座標
    }
]
```

4.3 スポットデータ

```
{
    "spots": [
        {
            "name": "スポット名",
            "imageX": 画像X座標,
            "imageY": 画像Y座標,
            "lat": 緯度,
            "lng": 経度
        }
    ]
}
```

5. UIコンポーネント仕様

5.1 メインパネル

- **ファイル読み込み**: ラジオボタンによる種類選択
- **カウンター表示**: ポイント、ルート、スポットの読み込み数
- **実行ボタン**: ジオリファレンス処理の実行
- **出力ボタン**: GeoJSON形式での結果出力

5.2 地図表示

- ベースマップ: 国土地理院地形図
- 初期位置: 箕面大滝 (34.853667, 135.472041)
- 初期ズーム: 14レベル
- レイヤー管理: 専用ペインによるz-index制御

5.3 レイヤー構成

- tilePane: 地形図タイル (z-index: 200)
- overlayPane: 画像オーバーレイ(z-index: 400)
- shadowPane: マーカー影(z-index: 500)
- markerPane: デフォルトマーカー (z-index: 600)
- gpsMarkers: GPSマーカー (z-index: 610)
- pointJsonMarkers: ポイント・スポットマーカー (z-index: 620)
- wayPointMarkers: 中間点マーカー(z-index: 630)
- tooltipPane: ツールチップ (z-index: 650)
- popupPane: ポップアップ (z-index: 700)

6. エラーハンドリング

6.1 ファイル読み込みエラー

- 対応形式外: 適切なエラーメッセージ表示
- **ファイル破損**: JSON解析エラーのハンドリング
- 個別ファイルエラー: 他ファイル処理継続

6.2 ジオリファレンスエラー

- **対応点不足**: 最小必要点数の確認
- 変換精度低下: 警告メッセージの表示
- **計算エラー**: フォールバック処理

6.3 ログ機能

- ログレベル: ERROR、WARN、INFO、DEBUG
- 保存先: LocalStorage (最大1000件)
- フォーマット: タイムスタンプ付きJSON形式

7. パフォーマンス仕様

7.1 処理制限

- Excel 行数制限: 1000行(将来拡張用)
- ファイルサイズ: ブラウザ制限に依存
- 同時マーカー数: 実用的制限なし

7.2 メモリ管理

- **画像キャッシュ**: ブラウザネイティブ機能活用
- マーカー管理: Leafletレイヤーシステム活用
- **ログローテーション**: 自動的な古いログ削除

8. セキュリティ仕様

8.1 ファイル検証

- MIME type: 厳密な形式チェック
- ファイルサイズ: ブラウザ制限内
- **コンテンツ検証**: JSON構造の妥当性確認

8.2 XSS対策

- **入力サニタイゼーション**: HTMLエスケープ処理
- CSP: Content Security Policy適用検討
- 信頼できないスクリプト実行:制限

9. 今後の拡張予定

9.1 機能拡張

- **Excel直接読み込み**: .xlsxファイル対応
- 複数画像対応: 複数PNG画像の同時処理
- 高精度変換: より高次の幾何変換アルゴリズム

9.2 UI改善

- **ドラッグ&ドロップ**: ファイル読み込みの簡素化
- プログレスバー: 処理進捗の可視化
- 設定保存: ユーザー設定の永続化

10. 技術アーキテクチャ

10.1 モジュール構成

- app-main.js:メインアプリケーション制御
- map-core.js: 地図初期化・レイヤー管理
- gps-data.js: GPS・GeoJSONデータ処理
- image-overlay.js: 画像重ね合わせ処理
- georeferencing. js: ジオリファレンス計算
- route-spot-handler.js:ルート・スポット管理
- coordinate-display.js: 座標表示制御
- ui-handlers.js: UI操作ハンドラー
- utils.js:ユーティリティ・ログ機能

10.2 設計パターン

- **ES6モジュール**: 機能分離とカプセル化
- **イベント駆動**: UI操作とデータ処理の分離
- 非同期処理: Promise/async-awaitパターン
- **エラーファースト**: 堅牢なエラーハンドリング

最終更新: 2024年09月 バージョン: 1.0.0